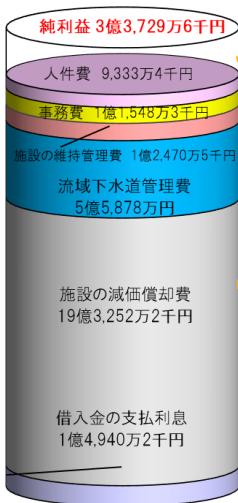


令和6年度 下水道事業の決算内訳

下水を処理するための収入と支出（税抜）



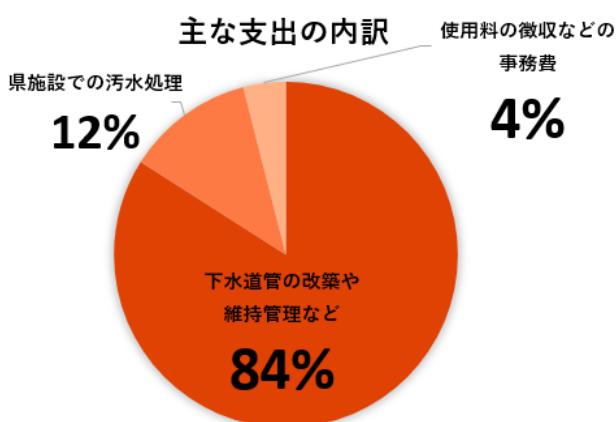
下水道施設を整備するための収入と支出（税込）



下水道事業会計決算について

令和6年度の決算では、純利益は3億3,729万6,147円を確保しました。これは、前年度と比較すると、収入が増加した一方で、支出も増加したことから、純利益は減少しました。

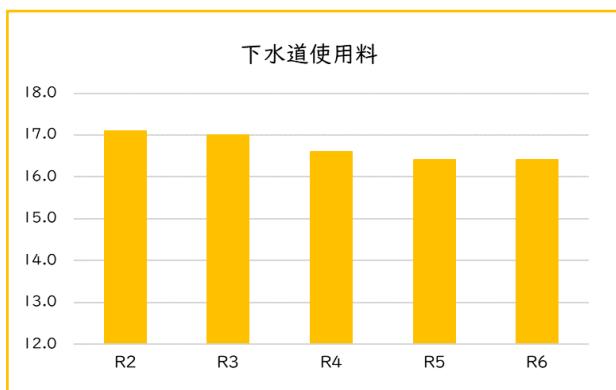
どんなことにお金が使われているのか？



下水道管の改築や維持管理、県施設での汚水処理（荒川右岸流域下水道維持管理負担金）、下水道使用料の徴収などの事務費に使われています。

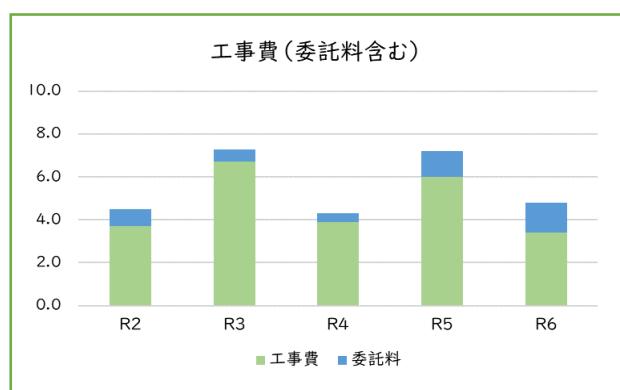


下水道マスコットキャラクター
「スイサイ」



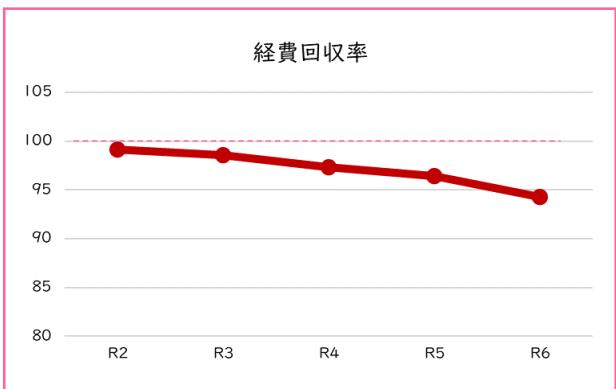
Check!

下水道使用料は減少傾向にある



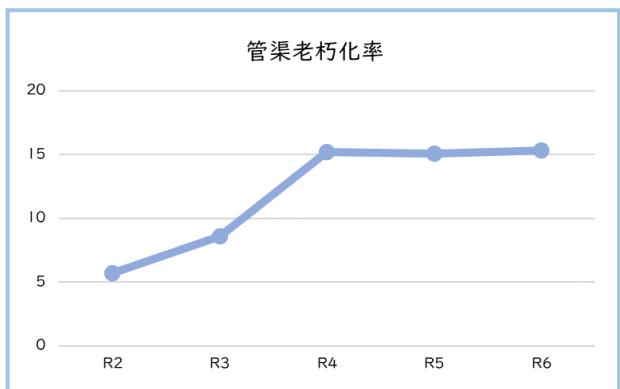
Check!

今後は老朽管きよの維持管理、更新に費用がかかる見込み



Check!

経費回収率(※)は100%を下回っている



Check!

管きよ老朽化率は上昇傾向にある

現状&課題

- ・人口減少や節水機器の普及により下水道使用料は減少
- ・物価高騰に伴い工事費、維持管理費は高騰
- ・施設の老朽化に伴い維持管理費、改築工事費は増加
- ・維持管理負担金の値上げ(令和7年度、8年度に段階的に34%の値上げ)
 - ◎狭山市では県の汚水処理施設を使用しており、維持管理負担金が約2億円増加する見込みです
- ・一般会計からの赤字を補てんするための補助金により黒字を維持しており、独立採算での運営ができない

(※)経費回収率とは?

汚水処理に必要な費用を下水道使用料で賄うことができているかを示す指標。100%を上回っていれば、賄うことできているとされます。

主な実施事業

○公共下水道市街化調整区域第4期整備事業

市街化調整区域汚水管渠築造工事 決算額:4,033万4,250円

公共下水道の整備を推進するため、平成27年度から第4期整備事業に着手しており、令和6年度は約403mの汚水管を整備しました。

なお、令和6年度に契約した工事1件については、令和7年度に繰越を行いましたが、令和7年5月末時点で工事を完了しています（繰越額2,877万円）。この工事の完了をもって、第4期整備事業は完了となりました。

- ・供用開始面積:1,998.20ヘクタール
- ・供用開始区域内の人口:143,463人
- ・普及率:97.05%



○総合地震対策事業

総合地震対策工事 決算額:6,100万円（前払金分）

「狭山市下水道総合地震対策計画」に基づき、大規模地震の教訓を踏まえて、防災と減災を組み合わせた総合的な対策を行っています。

令和6年度は、下川原雨水管耐震化工事に着手しましたが、材料の納入に不足の日数を要したため、令和7年度に繰越となりました。

（繰越額9,993万円）

